

安全マニュアル 3 (船外機船)

2020年11月1日改訂

東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所 (採集室)

1. 乗船にあたって

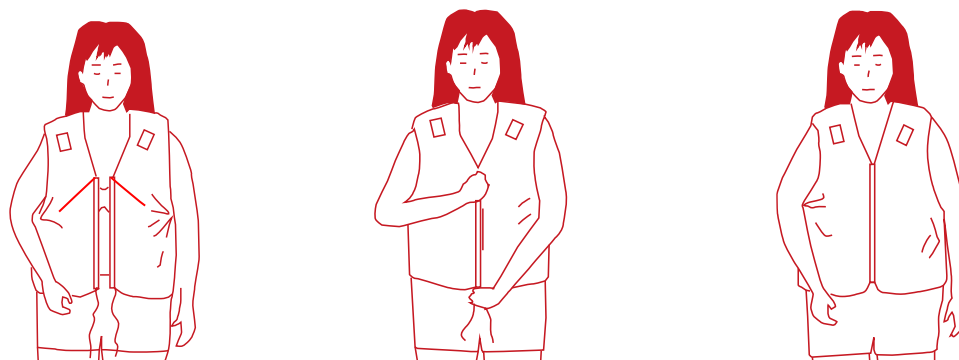
- ・乗車可能人数 (実験所7号: 4名、実験所8号: 5名) は必ず守っていただきます。*原則として操船は技術職員が行います。
- ・乗船にあたっては**技術職員の指示に従ってください**。

2. 気象・海況等の確認

- ・当日の利用は、気象・海況によって可否を決めます。最終判断は採集室にて行いますが、各自インターネットなどで情報を入手しておいてください。

3. 服装

- ・怪我防止のため長袖長ズボンなど肌の露出を少なくし、船上で作業をする場合は軍手などを着用してください。(海況によっては波飛沫で濡れる場合があります。濡れてもよい服装もしくはカッパを着用してください。)
- ・長靴や運動靴などの滑りにくい履物を履いてください(踵の無いサンダルなどの履物での乗船は禁止しています)。
- ・夏季は熱中症対策(帽子、タオル、飲み水、日焼け止め、サングラス等)、冬季は防寒対策をしてください。
- ・**ライフジャケット**を着用してください(図参照)。ライフジャケットは、教育棟実習室2と採集作業棟にあります。



- ① 腕を通して着用し、胸元の紐を結ぶ。左右のバックルでサイズを調節する
- ② ファスナーを閉じ、すそ締めロープを結ぶ
- ③ 結んだロープを内側に押し込む

4. 乗船中の注意

- ・船のバランスを考えて左右均等に着席してください。
- ・操船席付近に近づかないでください。航行の妨げになることがあります。
- ・船のへり（縁）に腰掛けしないでください。
- ・船のへり（縁）に手をかけていると岸壁などの間に挟まれる場合がありますので注意してください。
- ・走行時は着席し、みだりに立ち上がらないでください。
- ・船内は禁煙です。
- ・海にゴミを捨てないでください。
- ・危険な動物に注意してください。万一受傷した場合は、速やかに病院へ行き医師の診察を受けてください。

1)ゴンズイ…[図 1]

ナマズの仲間、背びれと胸びれに強い毒棘があり、刺されると激痛が長時間続く。

2)ハオコゼ…[図 2]

赤い小形魚で、背びれ・腹びれ・尻びれに毒棘が並ぶ。

3)ハチ…[図 3]

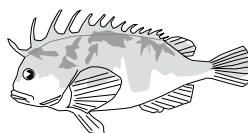
ハオコゼと同様、ひれに注意する。

4)シドロガイ…[図 4]

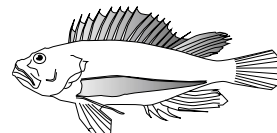
強靱な蓋の外縁にある鋸歯で切り傷を負い、出血する。



[図 1] ゴンズイ



[図 2] ハオコゼ



[図 3] ハチ



[図 4] シドロ

この他にも、ドレッジでは、カヤ類や石灰海綿が採集されます。素手では触れないようにしましょう。

★緊急連絡先★

- ・臨海実験所事務室：046-881-4105
- ・採集室：046-881-4107
- ・東京大学理学部地区防災センター：03-5841-8299
- ・三浦市立病院：046-882-2111